



K-RIP情報

KYUSHU RECYCLE AND ENVIRONMENTAL INDUSTRY PLAZA

2007# vol.1

(財)九州産業技術センター
九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (K-RIP)
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13-24
TEL 092-474-0042 FAX 092-472-6609
URL <http://www.k-rip.gr.jp>

平成19年度 K-RIP総会を開催

平成19年6月14日（木）、JALリゾートシーホークホテル福岡におきまして、会員企業159出席のもと、平成19年度のK-RIP総会を開催いたしました。

冒頭、麻生会長の挨拶、並びに来賓の川口修九州経済産業局長、花嶋正孝(財)福岡県環境保全公社リサイクル総合研究センター長の挨拶に続き、議長を選出（環境テクノス(株)鶴田暁社長）し、6議案について審議し、すべて異議無く了承されました。

その後、宇宙航空研究開発機構の立川敬二様より『宇宙から見た地球環境ビジネスについて』と題した記念講演をいただき、無事閉会いたしました。



- | | |
|-------|-------------------|
| 第1号議案 | 平成18年度事業報告について |
| 第2号議案 | 平成18年度収支決算報告について |
| 第3号議案 | 平成19年度事業計画(案)について |
| 第4号議案 | 平成19年度収支予算(案)について |
| 第5号議案 | 役員を選任について |
| 第6号議案 | 規約の改正について |



麻生会長挨拶

只今ご紹介いただきました九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ会長の麻生でございます。平成19年度K-RIP総会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、皆様お忙しい中、平成19年度総会にご出席を賜り、心より御礼申し上げます。

ご承知のとおりK-RIPは、今年で設立8年目を迎えます。当初は産学官のネットワーク形成と拡大を中心に事業展開し、平成13年度からは、経済産業省の「産業クラスター計画」の1プロジェクトとして、九州経済産業局のサポートの下、積極的事业展開を図って参りました。これも一重に皆様方のご協力・ご尽力によるものと、深く感謝申し上げます。次第です。

さて、近年の国民経済の発展やライフスタイルの変化等を背景に、エネルギー使用量は高い水準で増加しており、これに伴い、二酸化炭素排出等による地球温暖化が重大な問題となっております。この様な中において、持続可能な社会を構築するには「環境と経済の両立」の実現が不可欠であり、また、環境問題のグローバル化に対し、環境問題が固有地域の問題ではなく、地球全体の問題であるとの視点が不可欠となっております。

本日ご審議いただきます19年度事業におきましても、これまでの「事業化・起業化支援」に加え、「人材育成支援」「アジア展開」を重点テーマに掲げており、4年ぶりの「環境クラスター大学」の開催や、「九州アジア環境ビジネス研究会」をベ-

スとしたプロジェクト支援など、選択と集中及びグローバルな視点に立った事業案となっております。昨年を上回る成果を期待しているところです。

なお本日は、日本唯一の宇宙航空開発・研究機関の宇宙航空研究開発機構の立川理事長をお招きし、記念講演を予定しております。宇宙航空研究開発機構の技術が、環境技術分野へスピコンオフした事例もあると、文献で拝見した記憶もございますので、興味深いお話を伺えるものと楽しみにしております。

最後になりましたが、本日お集まりの皆様方と、関係各位の今後益々のご活躍を記念し、私の挨拶とさせていただきます。



麻生 泰 会長

テーマ『宇宙から見た地球環境ビジネスについて』

JAXAの実績と将来ビジョン

JAXAの最近の活動は、2006年1月の陸域観測技術衛星「だいち」や同年12月の技術試験衛星Ⅷ型「きく8号」ほか、X線天文衛星「すざく」や赤外線天文衛星「あかり」、太陽観測衛星「ひので」、小惑星探査機「はやぶさ」などの打ち上げに成功した。

また、今年度は月周回衛星「SELENE」や超高速インターネット衛星「WINDS」、来年度は温室効果ガス観測技術衛星「GOSAT」、スペースシャトルによる宇宙ステーションへの物資補給や日本実験棟「きぼう」などが予定されている。（※ただし、来年度以降の打ち上げについては、必要な国の宇宙航空関連予

算措置が前提とのこと。）

JAXAの2025年までの宇宙航空技術開発の長期的目標は次の4点。1点目は、これまでの通信・放送・気象・測位に加えて新たに災害・危機管理システムや地球環境監視システムなどの新しい宇宙空間の利用方法の拡大。2点目は、宇宙の謎の解明及び可能性探求のための宇宙観測・太陽系探査や月面基地の構築など宇宙科学の推進。3点目は、宇宙輸送システムの強化のためのロケットの信頼性向上や軌道間輸送システム及び有人システムの研究開発。4点目は、民間企業との次世代国産旅客機共同研究やマッハ5クラスの極超音速技術の開発など次世代航空システムの開発である。

環境への取組み

JAXAは環境に対しても様々な取組みを行っている。2005年7月に「JAXA環境憲章」を制定し、青く美しいこの星を子孫に引き継ぐために「持続可能な発展（Sustainable Development）」を目指した研究開発活動を行うことを宣言した。また、2004年にグリーン購入大賞「奨励賞」受賞や2006年打ち上げのH-IIAロケット8号機にエコマークが付与された事例について紹介があった。

JAXAの地球環境に対する具体的な取組みは、全球地球観測システム（GEOSS：Global Earth Observation System



立川 敬二氏（独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 理事長）

of Systems) の開発により地球上の災害や水環境、気候変動等に関する様々なデータ収集・分析を行い、地球環境の変化に対応するための政策決定に貢献している。また、災害監視・危機管理プログラムとして災害時のデータ収集・分析に加え、それらの分析結果を踏まえた災害状況や避難経路指示や家族の位置情報などを被災住民に提供できるようなシステムの運用を目指して、様々な観測衛星や通信衛星を整備している。更に、これらのシステムをアジア太平洋地域の災害管理に役立てるために、Sentinel Asia (センチネルアジア) としてインターネット上で災害管理情報を共有する活動を展開中である。この他にも、世界の水循環観測や気候変動・温室効果観測に資する様々な観測衛星の打ち上げにより、観測データの収集・分析技術の向上とデータの応用によって地球環境のみならず防災や農林水産業、健康、エネルギーなど様々な公共利益分野への貢献を目指している。

環境に役立つJAXAの技術として、JAXAが保有する技術の民間への技術移転を通じた地球環境への貢献を考えている。宇宙航空技術の向上には裾野産業の拡大・育成が不可欠と考えており、

産学官連携による共同研究の場として「宇宙オープンラボ」の実施、JAXAが開発した宇宙技術の民間利用の拡大 (スピノフ) による新たなビジネス創出や、映像・画像や商標などJAXAが保有する知的財産権の有効活用などのアプローチにより、宇宙開発の裾野を拡大し、新たな宇宙ビジネス機会の創出を目指している。

技術の活用

「宇宙オープンラボ」では、民間企業等から将来の宇宙航空プロジェクトに資する技術やビジネスアイデアの提案を受けて共同研究の実施から事業化を目指すもので、例えば、技術提案型で生活排水を再生した飲料水の開発や排出ガスが少なく閉鎖環境に対応した小型燃料電池の開発、船内空気浄化技術の開発などの事例がある。また、ビジネス提案型では、臭いや汚れが付きにくい船内被服や寝具、運動靴の開発や衛星データによる地球環境監視ビジネスのための電子国土情報システム開発などの事例がある。

また、スピノフによる宇宙航空技術の民間活用事例としては、例えば、ロケットの断熱材技術を応用した建築用断熱塗料の開発や、閉鎖空間における水再生技術を応用した浄水装置の

開発、同じく閉鎖空間における有機廃棄物処理技術を応用したゴミ処理装置の開発などの事例がある。

講演終了後の質疑応答では、麻生会長をはじめとして参加者から多くの質問があがるなど、講演は盛況のうちに終了した。立川理事長も、九州は種子島宇宙センターや九州大学の小型衛星開発など、JAXAとは非常に縁の深い土地なので、今後は是非とも九州から様々なビジネス提案を挙げて頂きたい、JAXAとしてもできる限りの協力は惜しまないとのことであった。

役員名簿

| 会 長 | | |
|------------------------|---------------|-------|
| (株)麻生 | 代表取締役社長 | 麻生 泰 |
| 副 会 長 | | |
| 旭化成(株) | 執行役員延岡支社長 | 水永 正憲 |
| 環境テクノス(株) | 代表取締役 | 鶴田 暁 |
| 九州電力(株) | 代表取締役副社長 | 田中 征夫 |
| 西部ガス(株) | 常務取締役 | 田中 優次 |
| 新日本製鐵(株) | 執行役員八幡製鐵所長 | 藤井 康雄 |
| 理 事 | | |
| 雲海酒造(株) | 代表取締役社長 | 中島 勝美 |
| 九電産業(株) | 環境部長 | 今泉 幸男 |
| (株)黒田工業 | 代表取締役 | 黒田 實 |
| 金剛(株) | 代表取締役社長 | 宮崎 邦雄 |
| (株)サニックス | 代表取締役 | 宗政 伸一 |
| 山九(株) | 執行役員九州エリア長 | 北川 恭一 |
| 太平洋セメント(株) | 九州支店長 | 竹野 孝之 |
| チッソ(株)水保本部 | 常務執行役員本部長 | 森田美智男 |
| (独)中小企業基盤整備機構九州支部 | 支部長 | 筒井 司 |
| 電源開発(株) | 九州支社長 | 丸山 勝久 |
| TOTO(株) | 環境推進室長 | 内田 照雄 |
| トヨタ自動車九州(株) | 取締役宮田工場工務部長 | 徳田 勇治 |
| 西日本技術開発(株) | 環境整備部長 | 木寺佐和記 |
| 日本浄水管理(株) | 専務取締役 | 中村 義博 |
| パナソニックコミュニケーションズ(株) | グループマネージャー | 松原 正吾 |
| (株)PAL構造 | 代表取締役 | 菅 洋一 |
| (株)フクユ一緑地 | 代表取締役 | 栗山 昌高 |
| (株)松田興業 | 代表取締役 | 松田 正則 |
| (株)三井ハイテック | 常務取締役管理本部長 | 大森 昌勝 |
| 三井物産(株) | 理事九州支社長 | 松山 良一 |
| (株)ワイビーエム | 代表取締役会長 | 吉田 哲雄 |
| (社)日本鉄リサイクル工業会 | 九州支部長 | 池尻 徹男 |
| 勲九州産業技術センター | 専務理事 | 野田 博之 |
| 北九州市 | 環境経済部長 | 後藤 基明 |
| 大牟田市 | 産業経済部産業振興担当部長 | 村上 義弘 |
| 水俣市 | 産業建設部長 | 吉海 安丈 |
| 九州工業大学 | 学長 | 下村 輝夫 |
| 大分大学 | 学長 | 羽野 忠 |
| 監 事 | | |
| (株)西日本シティ銀行 | 公務金融法人部長 | 池本 裕之 |
| (社)九州経済連合会 | 経済産業本部長 | 國政 淳一 |
| 顧 問 | | |
| 福岡県環境保全公社リサイクル総合研究センター | センター長 | 花嶋 正孝 |
| 九州経済産業局 | 局 長 | 川口 修 |

各部会幹事名簿

| 交流部会 | | |
|--------------------|----------------|-------|
| 部 会 長 | | |
| (株)麻生 | 環境事業部部長 | 坂田 昌己 |
| 副 部 会 長 | | |
| (有)日研 | 代表取締役社長 | 末竹 哲 |
| 幹 事 | | |
| 旭化成(株)延岡支社 | リサイクル推進サポート室室長 | 秋山 武康 |
| NPO法人 九州環境カウンセラー協会 | 理事長 | 松浦 茂雄 |
| (有)共栄資源管理センター小郡 | 代表取締役社長 | 野崎 千尋 |

| | | |
|------------------------|------------------|-------|
| 西部ガス(株) | 総合企画室環境・国際室長 | 坂田 陽一 |
| 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 九州支部 | 経営支援部部長 | 鳥居 千秋 |
| 西日本環境工エネルギー(株) | 新規事業推進部課長 | 原田 達朗 |
| (株)フクユ一緑地 | 代表取締役会長 | 栗山 昌高 |
| 三菱マテリアル(株) | 九州工場技術部環境リサイクル課長 | 野口 竜二 |
| (株)矢敷環境保全 | 代表取締役 | 矢敷 和男 |
| 九州工業大学 | 工学部建設社会工学科教授 | 仲間 浩一 |

情報部会

| 部 会 長 | | |
|---------------|------------------------|-------|
| 九州電力(株) | 環境部部長 | 瓜生 道明 |
| 副 部 会 長 | | |
| (株)西村鉄工所 | 代表取締役社長 | 西村 仁志 |
| 幹 事 | | |
| 大谷化学工業(株) | 代表取締役 | 梅田 佳暉 |
| 九州大学 | 大学院工学研究院環境都市部門教授 | 島谷 幸宏 |
| (株)九州総研 | 代表取締役 | 工藤 憲男 |
| (株)九州テクノリサーチ | 環境ソリューションセンター-取締役センター長 | 粉 康則 |
| チッソ(株) 水保本部 | 管理部部长 | 辻 良二 |
| 電源開発(株) 西日本支店 | 支店長代理(福岡市駐在) | 松尾 昌美 |
| (株)三森屋 | 社会環境事業担当 | 荒木 正信 |

プロジェクト部会

| 部 会 長 | | |
|-------------------|-------------------------|-------|
| 新日本製鐵(株)八幡製鐵所 | 総務部開発企画グループ部長 | 網岡 健司 |
| 副 部 会 長 | | |
| 環境テクノス(株) | 開発部プロジェクト担当部長 | 弟子丸克彦 |
| 幹 事 | | |
| 九州大学 | 大学院工学研究院応用化学部門教授 | 北條 純一 |
| 三井物産(株)九州支社 | プロジェクト統括部長 | 山本 正孝 |
| 産業技術総合研究所 | 九州産学官連携センター産学官連携コーディネータ | 安部 英一 |
| 住友商事(株) 九州・沖縄ブロック | 企画管理部部长 | 山口 克彦 |
| 日鐵運輸(株) | 環境事業部事業部長 | 今井 忠道 |
| (株)マサキ・エンヴェック | 代表取締役社長 | 眞崎 建次 |
| 熊本県産業技術センター | 材料開発部部长 | 永田 正典 |
| 宮崎県工業技術センター | 資源環境部部长 | 中田 一則 |
| 勲かごしま産業支援センター | 技術アドバイザー | 遠矢良太郎 |
| 吉玉精錬(株) | 代表取締役社長 | 吉玉 典生 |
| 九州工業大学 | 副学長 | 水垣 善夫 |

需要創出部会

| 部 会 長 | | |
|--------------|-------------------------|-------|
| (株)ワイビーエム | 代表取締役会長 | 吉田 哲雄 |
| 副 部 会 長 | | |
| 長崎大学 | 大学院生産科学研究科・環境科学部教授 | 武政 剛弘 |
| 幹 事 | | |
| 熊本大学 | 法学部教授 | 外川 健一 |
| 北九州市立大学 | 国際環境工学部助教授 | 福田 展淳 |
| 宮崎大学 | 工学部物質環境化学科教授 | 保田 昌秀 |
| 鹿児島大学 | 農学部生物環境学科教授 | 守田 和夫 |
| 産業技術総合研究所 | 九州産学官連携センター(福岡サイト) 総括主幹 | 萩尾 剛 |
| 九州環境技術研究所 | 所長 | 齊藤 清美 |
| 山九(株) 九州エリア | 開発営業部参与 | 白石 学 |
| つちやゴム(株) | 代表取締役社長 | 倉田 雄平 |
| 三菱商事(株)九州支社 | 業務経理部部长 | 本庄 伸一 |
| 伊藤忠商事(株)九州支社 | 企画開発室室長 | 三箇 正彦 |
| 九州工業大学 | 大学院生命体工学研究科教授 | 春山 哲也 |

全体事業スケジュール

平成19年度K-RIP事業の事業名と開催日をお知らせします。

| 開催日 | 事業名 | 主催等 |
|-----------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| 平成19年6月14日(木) | 役員会・総会 | K-RIP |
| 平成19年9月6日(木)～8日(土) | 2007NEW環境展(大阪) 出展支援事業 | K-RIP ㈱日報アイ・ビー |
| 平成19年9月10日(月)～13日(木) | 九州環境クラスター大学 | K-RIP |
| 平成19年10月上旬 | エコ・エネルギーセミナー | K-RIP |
| 平成19年10月17日(水) | K-RIP成果発表会 (エコ・テクノ2007併催事業) | K-RIP |
| 平成19年10月17日(水)～19日(金) | エコ・テクノ2007出展支援事業 | K-RIP・北九州市 西日本産業貿易コンベンション協会 |
| 平成19年10月18日(木) | 環境NPOとの交流事業 (エコ・テクノ2007併催事業) | K-RIP |
| 平成19年10月24日(水)～26日(金) | びわ湖環境ビジネスメッセ2007 出展支援事業 | K-RIP 滋賀環境ビジネスメッセ実行委員会 |
| 平成19年11月14日(水)～16日(金) | 2007NEW環境展(名古屋)出展支援事業 | K-RIP ㈱日報アイ・ビー |
| 平成19年11月26日(月)～27日(火) | 環黄海環境ビジネスミッション受入事業 | K-RIP |
| 平成19年12月13日(木)～15日(土) | エコプロダクツ2007出展支援事業 | K-RIP ㈱産業環境管理協会 日本経済新聞社 |
| 平成19年6月～平成20年3月 | エコ塾(月1回開催) | K-RIP |

平成19年度 K-RIP事業の視点

I. 地域の個性と多様性を生か

したオール九州の取り組み強化

- 地域特有の環境問題を解決していくために、5地域の拠点とK-RIPが連携し、技術マッチングや販路拡大を積極的に支援
- 南九州の有機系廃棄物処理ニーズと北部九州のものづくり技術との連携による九州の総合力発揮を支援
- NPO等多様なプレイヤーが集う場の創出(エコ塾、NPO法人枠)

K-RIPブランドの構築、K-RIPファンの拡大による エコイノベーションの創出

Ⅲ. 環境人材の育成

- 九州環境クラスター大学(9/10~13)※開催による環境産業人材、若き環境人材の育成
※2年ぶり復活、桜島開催、3泊4日合宿・ゼミ方式、卒業生の集い、南九州らしいテーマと現地視察
- 海外で活躍できる環境人材の育成、留学生の環境人材育成事業への積極的関与
- K-RIPフェローの任命、インターンシップ派遣

Ⅱ. アジアとの共存共栄を図る環境リエゾン

- 国内、国外における九州アジア環境ビジネスのワンストップセンターとしてのポジション確立
- アジア進出計画を発掘し、個別具体的プロジェクトを各種支援していく体制を構築し、具体的ビジネスを創出
⇒「九州アジア環境ビジネスWG」、「個別プロジェクト研究会」の設置、JETRO RIT事業連携

19年度K-RIPプロジェクト採択案件のご紹介

弊社は、蚕の繭から絹糸を製造過程で発生する副産物を活用した、“シルクプロテクトクリーム絹の繭”を商品化しました。この商品は、シルクたんぱく質を分解することなく溶液化して配合してあるので従来の加水分解法と異なり、シルクたんぱく質が高分子のまま配合されています。高分子絹たんぱく質は、非水溶性であるため、皮膚の上でシルクの皮膜と作り、保護力が高くなります。そこで、本プロジェクトでは、各分野の専門家による販売戦略検討委員会を設置し、絹の有効性や化粧品として有利な特性等を検討し、その中で有力と思われる作用について調査し、客観的実証データをとります。そのデータをもとに具体的な販売戦略を検討・構築することを目的としています。

株式会社アマミファッション研究所(鹿児島県奄美市名瀬朝戸269-3)
代表取締役 吉川 卓伸
TEL 0997-54-9181 FAX 0997-54-9182



事業内容
消費者の視点に立ち、安心と信頼の持てる日用品の企画・卸販売。

自社商品
◇重曹の洗濯洗剤「イオン・パウダーソーダ」、
◇天然成分の消臭・除菌・防カビ剤「アクアミスト」、
◇洗濯用消臭剤「安心してプラス」など、
品質・効力はもとより、人・環境への配慮を最優先にしている。
商品を通して、ライフスタイルの見直しを示唆し、「シンプルで快適な生活」を啓蒙する。



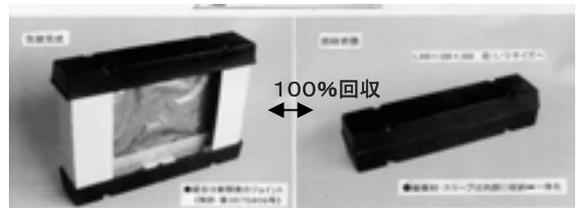
有限会社フリーマム
代表取締役 青松瑛子
〒840-2104 佐賀市諸富町徳富2015-3
TEL 0952-34-8675 FAX0952-34-8685
<http://www.mom.co.jp>

ゴミを発生させない
大型TV『リターナブル包装』の開発・販売の事業

●家電製品等のライフサイクルの実情
＜使用済み包装材は大半が廃棄処分＞
・当テーマはこの包装材のリターナブル化に挑むもので、大型TVに留まらず、エアコン・便器等の設備機器製品に容易に展開でき、その効果は物流コスト低減と同時に、温暖化防止のCO2削減貢献度が極めて高いものです。

●保有先行技術
①結合具特許(バンドに替わる結束具)
取得済み2件、出願中1件
②包装装置の特許(大型TV含む)・・・出願中
※エアコン、便器のリターナブル包装・・・審査請求中

☆新連携のコア企業☆
を求めています

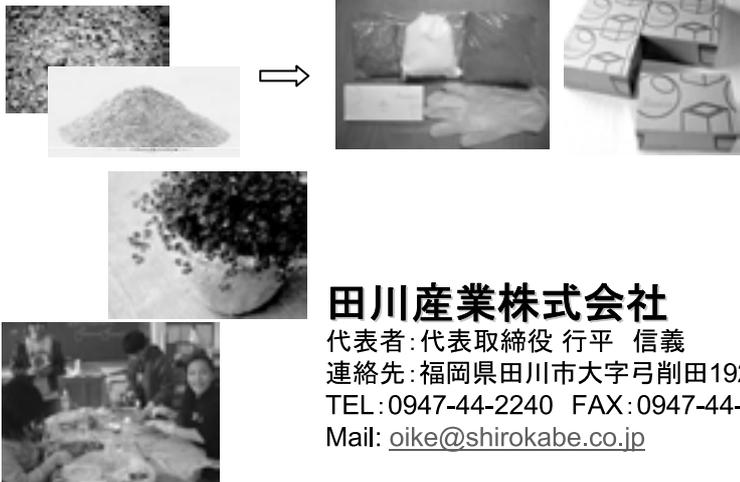


有限会社 エコ・パッケージングシステム
代表取締役 渡邊 隆久
〒818-0041
福岡県筑紫野市上古賀3丁目2-16
クリエイションコア福岡202-1号室
TEL092(925)5021 FAX092(925)5062

「リサイクル材料を利用した漆喰植木鉢の製品化と海外販売」

事業概要:

- 1.土漆喰粘土教材エコポを、新たな環境学習用教材として開発
石炭灰、建設廃土など廃棄物をパッケージ追加し、植木鉢の製作や漆喰の機能性、歴史を学ぶ授業を通し資源循環を実体験できる教材として開発する。
- 2.イギリス等欧米への海外PR
環境問題へのユニークな取組例として海外へPRする。



田川産業株式会社

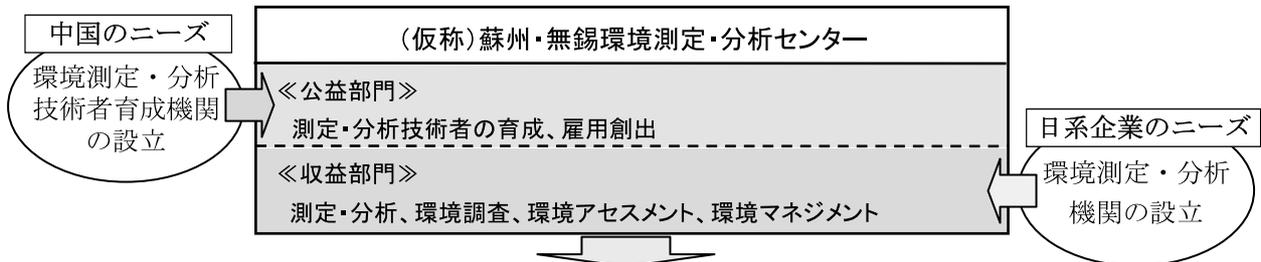
代表者: 代表取締役 行平 信義
 連絡先: 福岡県田川市大字弓削田1924番地
 TEL: 0947-44-2240 FAX: 0947-44-8484
 Mail: oike@shirokabe.co.jp

環境テクノス株式会社

代表取締役 鶴田 暁

「(仮称)蘇州・無錫環境測定・分析センター」事業化調査

測定・分析技術者の育成(公益部門)と、日系企業に対する環境測定・分析や環境調査(収益部門)を同一機関で展開するビジネスモデルのFS(フィージビリティ・スタディー)を実施する。



「(仮称)蘇南地域環境測定・分析センター」事業化のためのFSの実施

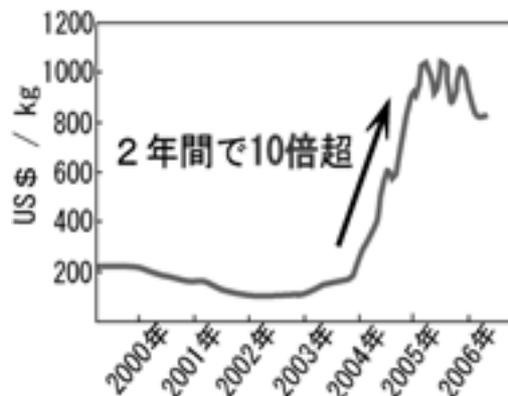
- ・アンケート調査 ⇒ 蘇州、無錫地区立地の日系企業約1000社
- ・ヒアリング調査 ⇒ 蘇州、無錫地区立地の日系企業約50社



使用済み液晶パネルからのインジウムの回収技術の開発

佐賀大学理工学部機能物質化学科: 井上勝利、川喜田英孝

インジウムは錫と共にインジウム錫酸化物(ITO)透明電極として液晶パネル等のフラットパネルディスプレイ(FPD)の原料として広く使用されています。近年の液晶テレビ等の急速な普及により、右の図に示すようにITO用のインジウムの需要も急激に伸びています。しかしインジウムは供給構造が非常に脆弱であり、超硬工具用のタングステンや磁石用のディスプロシウムと共に安定供給の確保が強く望まれています。これらの希少金属を鉄やアルミニウムなどの汎用金属に代替する研究開発も活発に行われているが、実用化までにはかなりの長時間を要すると見込まれています。したがって当面は徹底した回収、リサイクルで対応する以外に状況を打開するすべはありません。本研究ではこれまで回収の対象とされてこなかった使用済みFPDからのインジウムの回収技術を開発します。



近年のインジウム価格の推移

「第1回 エコ塾」開催される

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ（K-RIP）及び九州経済産業局では環境・省エネ・リサイクル分野を主とした、九州で強味をもつ技術情報等の発信・共有及び企業間の交流の活性化を目的とした、「エコ塾」を開催しました。

「エコ塾」は、講演会と交流会の2部構成となっており、講演会では主として環境に関する取り組みを実施している企業や団体の中から毎回2名の講師を招いて講演を実施します。

第1回目の今回は2005年の愛知万博で話題になり、人の出入りの多い場所で活躍している雨傘ふき取り器とガラスを利用して従来の照明に比べ、省電力、長寿命の「スフィア街路灯」を開発した2件を講演した。「エコ塾」は今後毎月1回の開催を予定しています。多くの方の参加を期待しています。

■ 日 時／平成19年6月6日(水) 17:00～18:00（交流会：18:00～19:30）

■ 場 所／九州経済産業局 第二・三会議室（福岡合同庁舎6階）

■ 参加者／講演会：70名（交流会：45名）

■ 講 演

第1講演（17：00～17：30）

・ テーマ名 雨傘ふき取り器「すいとるクリーン（日米特許取得）」

・ 講演者 (株)日の出 代表取締役社長 白石 芳則氏

【プレゼンテーション概要】

スーパー等で雨の日の傘入れに細長いビニール袋が入り口にぶら下がっており、このビニール袋は年間1億枚出荷されている。再使用用途のないこの袋は当然環境にも負荷がかかる。これを解消するためにエネルギーを使用しない雨傘ふき取り器を開発し、国内、海外販売を目指す。



白石社長による講演

第2講演（17：30～18：00）

・ テーマ名 「ソーラー付LED街路灯の新製品発売について」

・ 講演者 (株)藤島 代表取締役社長 藤島 康司氏

【プレゼンテーション概要】

地球温暖化ガスCO₂の排出ゼロ、日本で一番明るく、長寿命（10年）、しかもメンテナンスフリーと抜群の省エネ性を誇る「スフィア街路灯」の誕生。



藤島社長による講演

「専門家派遣事業」のお知らせ ～仕事でお困りの方に専門家を派遣します～

K-RIPでは、昨年度に引き続き「専門家派遣事業」を開催いたします。

この事業は、K-RIP会員企業の皆さまを対象に、現在直面している課題に対する助言・情報提供を行い、課題解決の支援を行うものです。申込をいただいた会員の皆様を訪問して相談を受け、専門家によるアドバイス等の支援を実施いたします。

- ・ **実施期間**

平成19年6月20日(水)～平成20年2月22日(金)

- ・ **申込み方法**

K-RIPホームページ(会員限定サイト)からお申込みいただけます。

お申込み後、事務局で専門家を選任し派遣いたします。

- ・ **費用**

無 料(ただし2回目まで)

- ・ **相談対応者(専門家)**

(社)日本技術士会九州支部

監査法人 トーマツ 等

広報紙『K-RIP情報』への会員情報掲載について

技術紹介、表彰、各企業の紹介他各会員の情報にスポットをあて、紹介いたします。

情報の掲載を希望される方は、K-RIP事務局までご連絡ください。

(連絡先 次頁)

『九州環境クワスター大学』開講

九州地域の環境・リサイクル産業の育成と振興を目的として実施している人材育成と産学連携を促進するための合宿形式の研修プログラムです。3年ぶりに復活させることになりました。講師陣は大学と環境分野の企業経営者を予定しています。会員の皆様方の多数のご参加を期待しています。

- ・ **開催月日**

平成19年9月10日(月)～9月13日(木)(3泊4日)

- ・ **会場**

鹿児島県鹿児島市桜島横山町

国民宿舎 レインボー桜島

- ・ **受講対象者**

K-RIP会員

環境関連産業に従事する企業関係者

NPO運営者及び社会起業家

行政担当者及び大学生

- ・ **募集人員**

40名程度

ご紹介いたします～K-RIPを支える方々

| | | | |
|----------|---|---------------------|---|
| 所属 | (社)発明協会から九州経済産業局へ派遣 | |  |
| 役職 | 特許流通アドバイザー | | |
| 氏名(ふりがな) | 杉本 昇 (すぎもと のぼる) | | |
| 連絡先(所属先) | 九州半導体イノベーション協議会 | | |
| TEL/FAX | TEL:092-524-3501 FAX:092-524-9267 | | |
| E-mail | n-sugimoto-ad@adp.jiii.or.jp | | |
| 専門分野 | 化学、生化学、微生物学 | | |
| 略歴 | 2002.4 | 九州経済産業局入局 産業部 技術企画課 | |
| | 2003.4 | 同局 産業部 新規事業課 | |
| | 2004.10 | 同局 地域経済部 産学官連携推進室 | |
| 自己PR等 | 九州経済産業局に派遣された、特許流通アドバイザーとして、九州地域のものづくりに情熱を燃やす企業の発展にお役に立つよう、技術移転のお手伝いをいたします。 企業の方々を始め、公的機関、大学等、積極的に交流を深めて行きたいと願っております。 どうぞ宜しくお願いいたします。 | | |

| | | | |
|----------|--|---------------------------------------|---|
| 所属 | 九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP) | |  |
| 役職 | クラスターマネージャー | | |
| 氏名(ふりがな) | 飯塚 誠 (いづか まこと) | | |
| 連絡先(所属先) | 九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP) | | |
| TEL/FAX | TEL:092-474-0042 FAX:092-472-6609 | | |
| E-mail | iizuka@kitec.or.jp | | |
| 略歴 | 1997 | 国際青年環境NGO「A SEED JAPAN」で理事を経験 | |
| | 1998 | 新日本製鐵(株)に入社。100億規模のごみ焼却場建設プロジェクトを統括する | |
| | 2001 | 環境ビジネス新規事業の企画・営業に従事 | |
| | 2007 | K-RIPクラスターマネージャー就任 | |
| 自己PR等 | クラスターマネージャーはK-RIP事業の全体管理と産官学の関係機関の連携体制を構築、強化を図って環境ビジネスの新規事業を創出し、イノベーションの活性化を推進する役割を担います。私はK-RIPを環境・リサイクル産業分野で日本一のイノベーション創出の場として発展させることを使命と考え、今年度は「事業化、起業家支援」と「人材育成支援」を2本柱とします。 | | |

編集後記

K-RIP事務局に来まして2年が経過し、7月1日付で出身企業に戻ることにになりました。2年間という短い期間でしたが、様々なイベントで多くの会員の皆さまとお会いでき、飲んべーのため、エコ・テクノや部会の後の懇親会等も良き思い出となりありがとうございました。

今年度はクラスター大学の復活等もあり、K-RIPの活動がますます注目されると思いますが、K-RIP事務局のチームワークで乗り切っていられることと思っています。会員の皆さまも引き続き、ご支援くださいますようお願いいたします。

[下河 記]

【Kyushu Recycle and Environmental Industry Plaza】(K-RIP)

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)事務局

〒812-0013

福岡市博多区博多駅東2丁目13-24

(助)九州産業技術センター内

TEL 092-474-0042

FAX 092-472-6609

URL <http://www.k-rip.gr.jp/>

e-mail info@k-rip.gr.jp



大豆インクを使用しています



古紙配合率100%再生紙を使用しています。